



湖北地区公民館自主事業「学び舎コホミン」文部科学大臣表彰

湖北地区公民館が令和2年度から実施している事業「学び舎コホミン」が令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰されました。

「学び舎コホミン」では、千葉県立湖北特別支援学校の卒業生など知的障害がある方を対象に、学習、スポーツ、文化芸術に関する生涯学習講座を2カ月に1回以上実施しています。

企画は大学教授、地域住民、特別支援学校職員などで構成する「学び舎コホミン運営協議会」が、運営と支援を公民館・学生が行うことで、さまざまな講座の実施を持続可能な仕組みで実現し、障害者の生涯学習の継続を先導しています。

この事業が文部科学大臣表彰を受けたことを市長に報告します。

日時：令和5年1月5日（木）午後2時30分～3時

場所：我孫子市役所本庁舎2階 市長応接室

参加者：湖北地区公民館館長 太田 悟 氏

川村学園女子大学教授 向野 光 氏

県立湖北特別支援学校校長 細川 雅彦 氏

県立湖北特別支援学校元校長 椰野 敬夫 氏

県立特別支援学校市川大野高等学園校長 小倉 京子 氏

我孫子市長 星野 順一郎

◎湖北地区公民館◎

我孫子市東部の生涯学習を支える重要な拠点で、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。現在は「アクティオ株式会社」が指定管理者として、市や地域などと連携して事業を実施しています。

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部生涯学習課
担当 美濃

☎ 04-7182-0511

学び舎コホミンについて

湖北地区公民館（アクティオ株式会社）

☎ 04-7188-4433

(文部科学省ホームページ『令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰』から抜粋)

一緒に学ぼう、遊ぼう、みんなの「学び舎」で！

奨励者

■ 活動地
千葉県我孫子市

■ 回体名・氏名
学び舎コホミン
(我孫子市湖北地区公民館)

■ 基本データ

継続年数	2年
活動分野	学習 スポーツ 文化芸術
主な対象	すべて
主な連携先	特別支援学校 大学 行政 (その他)
団体の規模等	指導者15名 受講者20名 大学生15名

活動の概要

特別支援学校等の卒業生を対象に、多岐にわたる生涯学習講座を2か月に1回以上の頻度で実施しており、障害者の生涯学習の機会を多く創出し、継続的な学びに高い成果を上げている。「学び舎コホミン運営協議会」が事業の企画、公民館職員が各講座の運営、大学生が障害者への支援を行うことで持続可能な仕組みを構築している。

■ 活動内容

地域の公民館が、特別支援学校等の卒業生の学びや仲間づくりができる居場所になることを目指して取り組んでいるのが「学び舎コホミン」です。自然体験学習、パラスポーツ、落語や音楽鑑賞など、いろいろな内容の講座を開催しています。

令和2年9月に、5名の受講者が参加してリズム遊びを行うことからスタートしました。令和3年度からは活動を広げ、クッキー作り、ゴールボールなどのパラスポーツやダンス、リズム遊び、落語や音楽鑑賞等も行っています。受講者も次第に増え20名前後が毎回参加するようになりました。土曜日の午前中に開催していること、受講者が興味のある活動を選べることはもちろん、川村学園女子大学の学生がともに活動しながら支援にあたっていることが、受講者の励みになっているようです。毎回の活動後には、学生とともにスタッフが振り返りを行い、よりよい支援や運営のために意見を出し合っています。



写真2 パラスポーツのチーム活動の様子



写真1 手賀沼公園での紙飛行機飛ばしの様子

■ 活動の経緯・体制

「卒業生が社会に出て学び続け、仲間づくりのできる居場所を作りたい」という千葉県立湖北特別支援学校の提案をもとに、我孫子市湖北地区公民館、川村学園女子大学の近隣の3者連携による「学び舎コホミン」が令和2年に誕生しました。毎年の講座は3者の代表からなる「学び舎コホミン運営協議会」が企画しています。

■ 活動の効果・普及状況

湖北特別支援学校の卒業式の際に、卒業生全員に「学び舎コホミン」のチラシを配付したり、湖北地区公民館のホームページに掲載したりしてより多くの方々に知ってもらえるようにしています。

毎年、受講者が少しずつ増え、現在は常時20名前後が受講しています。

■ その他 (回体紹介やホームページのURL等)

<http://abikokohoku-kouminkan.jp/>